



市民活動情報 社協だより

発行日：令和6年1月

発行部数：5,000部



地域と企業・事業所の協働による取り組み

鈴原小学校地区において、地域ふれ愛福祉サロンに参加する際、車両で開催場所まで移動支援する取り組みが試験的に開始されました。この取り組みは、同じ地域に事業所を構える「アール・サポートセンター和楽（アール物産㈱）」の善意の協力により実施されています。

今号では、地域の困りごとに対し、このように企業や事業所も一緒になって解決に取り組む活動について、いくつかの実践事例を紹介します。

伊丹市社会福祉協議会
マスコミトキヤラウ！たみひこ

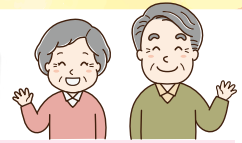


目次

- p 1～3… 地域と企業・事業所の協働による取り組み紹介
- p 4 …… 被表彰者紹介・新年のごあいさつ
- p 5 …… 事業紹介・職員募集
- p 6 …… 伊丹市共生福祉社会フォーラム
- p 7 …… 講座紹介
- p 8 …… 赤い羽根共同募金ご報告

※この社協だよりは、皆さまからご協力いただいた会費と共同募金の一部で作成しています。

地域の困りごとに事業所も協力



※地域ふれ愛福祉サロン：主に高齢者を対象に、地域住民が主体的に運営するつどいの場で、茶話会やレクリエーション等、地域の実情に応じ実施され、地域での見守りにつながっている。



地域の思いの懸け橋に

～鈴原小学校地区での移動支援の取り組み



経過

令和5年12月末現在、市内111ヶ所で地域ふれ愛福祉サロン（以下「サロン」）が開催されており、その多くは共同利用施設で行われています。

そのような中、鈴原小学校地区では、共同利用施設の統廃合に伴い、ゆうかりセンター、南菱センター、さつきセンターの3施設が閉鎖され、令和5年7月、鈴原小学校横に新しく「伊丹市立すすはら地区交流センター（以下「新センター」）」が開設されました。これまで3つのセンターで実施されていたサロンの多くは、新センターに移って開催されることになりましたが、移転前から、一部のサロン参加者より「場所が遠くなったら参加できない」という声も聞かれ、外出の機会が減る高齢者が増えるのではないかと課題が出てきました。



そこで、同じ鈴原小学校地区内にある、アール・サポートセンター和楽を運営しているアール物産株式の竹内和宏社長に相談したところ、「サロンを開催している11時頃から14時の間はデイサービスの送迎がない時間帯であり、車は空いている。地域の方が困っているのであれば協力する」との心強いお言葉をいただき、まずは新センターと一番離れているエリアから、試験的に車による移動支援を始めていくことになりました。

移動支援開始



10月から移動支援が始まり、4名の方が利用されました。4名とも、新センターに移ってから3か月間サロンに参加できていなかったため、新センターに到着すると「元気にしてた？久しぶり。会いたかったわ」と久々の再会を大変喜んでおられました。

移動支援を利用された方は、「なかなか外に出る機会もなかったもので、こうして車で送迎をしてもらえることで、サロンに行くことができ、なじみの方々と会ってお話できてうれしかった。このままどこにも行けないのかと憂うつだったわ」と話されていました。

それぞれの思いの懸け橋に

サロンを運営するボランティアや既に参加されている方々の、「来たいと思っている人には来てもらいたい」という思い。新センターになって行けなくなった参加者の「行きたいけれど歩いていくことは難しい」との思い。竹内社長やデイサービスセンター管理者の杉田氏をはじめアール・サポートセンターの皆さんがその両方の思いに応え、地域の中の懸け橋になってくださったことで、移転前のようなにぎやかなサロンが開催されています。

アール・サポートセンター 和楽
TEL 072-777-0119

アール・サポートセンター
TEL 072-777-0119

- 通所介護
(デイサービスセンター)
- 居宅介護支援事業所
(ケアプラン作成)
- 訪問介護／訪問看護



買物に困っている人をなんとかしたい! 自分達に合った買物支援～移動店舗の活用 (天神川小学校地区)



荒牧高層自治会では、高齢者や障がいのある方など、買物に行きづらいという方が増えてきました。自治会として何らかの支援の必要性を感じていた時、同じ校区内の別の自治会長から、「うちの自治会では移動店舗を利用しているよ」という話を聞いたことがきっかけとなり、自分たちに合った買物支援の方法について、自治会役員の方々を中心に、地域包括支援センターやコミュニティワーカー（市社協）等と話し合いました。

そして、昨年9月からコープこうべの協力のもと「移動店舗」の活用が始まりました。

身近な場所で買物ができることや、自分で商品を手にとって選び購入する楽しみができたことを多くの方が喜ばれています。

また、移動店舗がやって来る日は、住民同士が交流する場にもなっています。人が多い時には、自治会役員の方々が椅子を並べ、ゆったり過ごせる工夫もされています。

そして、「元気にしてた～?」「いつも来るのに先週おらんかったね～」等、自然とお互いを気にかけて合う様子も見られます。

移動店舗が、住民の生活環境の向上と気にかけてくれる関係づくりの一助となっています。



障害者支援事業所と地域住民がともにつくる 地域の居場所「きるとン広場」 (伊丹小学校地区)



お昼ごはんやカフェスペースとして、スクールきると伊丹校サンロード校舎（中央4-5-12）を開放する地域の居場所「きるとン広場」が令和5年10月13日（金）にオープンしました。この「きるとン広場」は、障がい者の自立・就労をサポートしている「スクールきると」から、「地域の方々との交流を通じて社会体験をする機会づくりをしたい。例えば、サロンのような活動を地域住民と一緒にできないか」と相談を受けたことからはじまりました。

「スクールきると」がある地区の民生委員・児童委員さんと一緒に話し合いをする中で、「一人暮らし高齢者から、普段一人でご飯を食べているので、食事を持ち寄っても皆でワイワイ食べられる場所があったらいいなあ…というお声を聞いた」という話があがり、食事やおしゃべりを楽しみながら集えるスペースとして校舎を開放し、スクールきるとのスクール生がお茶の提供と片付けをする中で地域住民と交流するところから始めていくこととなりました。

現在は、近くのセンターで毎週開催している「いきいき百歳体操」に合わせて、体操終了後に集える毎週金曜日10時45分～12時45分の2時間開催しています。回を重ねるごとに地域の参加者とスクール生がおしゃべりを楽しむ時間も増えてきました。参加者が定着していけば、今後の活動を参加者と一緒に考えていきたい、と話しながら進められています。



表彰

今年度、下記の個人・団体が各表彰を受賞されました。(敬称略・順不同)



兵庫県知事表彰

- ・民間社会福祉事業功労者 田中 賢一
- ・優良民生委員・児童委員 金野 英美 巽 ちくさ 赤瀬 幸恵 石川 和代

兵庫県社会福祉協議会会長表彰

- ・社会福祉事業功労者 松下 弥里 清水 健一 伊東 恵里子 越野 洋昌
榊村 勝 岡部 秀俊 高田 五月

兵庫県くすのき賞 囲碁みどり会 福祉部

兵庫県こうのとり賞 秋山 和子

ひょうご県民ボランティア活動賞 人形劇サークルポケット プチトマト

つつじ賞 グループゆめ 子どもの安全を支える会 佐藤 敦子 宅見 勝太郎 多田 寛 原田 雅代 山崎 悦子

皆さまの受賞を報告いたしますとともに、心よりお祝い申し上げます。

※原則、伊丹市社会福祉協議会、伊丹市民生委員児童委員連合会から推薦しました方をご紹介します。



新年のごあいさつ

社会福祉法人伊丹市社会福祉協議会
会長 行 澤 睦 雄



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えになられたことと謹んでお祝い申し上げます。

平素は、本会の活動に対しまして、深いご理解と格別のご支援、ご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

ところで、新年早々能登半島地方で最大震度7の大地震が発生しました。この地震により被災された方々に対しまして、心よりお見舞いを申し上げます。

さて、昨年、本会は、社会福祉法人化50周年という大きな節目を迎えたことから、11月23日に記念フォーラムを開催いたしました。半世紀にわたり伊丹の地域福祉の推進にご尽力をいただきました皆様に心から感謝するとともに、より多くの市民の方々とともに、人とひととがつながり、お互いを気かけあう、「誰もが自分らしく安心して暮らしていけるまちづくり」を推進していくことが大変重要であると改めて確認する機会となりました。

一方、少子高齢化の進行や、単身世帯が増加する中、4年にもわたるコロナ禍により、経済的に困窮する方や、人とひととのつながりが希薄化したことで、地域社会で孤立する方も増加していることから、伊丹市においては、昨年4月より、お困りごとを抱えた方々を漏らさず受け止め、様々な支援につなげる「重層的支援体制整備事業」を実施し、本会もその重要な役割を担っております。

本年は、令和7年度を開始年度とする第8次地域福祉推進計画の策定に着手し、今後も、より多くの市民、関係機関・団体の皆様方とともに、伊丹の地域福祉活動を尚一層推進してまいりたいと存じますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

伊丹市立障害者デイサービスセンター

＼ フラダンスを楽しみました!! /



伊丹市立障害者デイサービスセンターでは、ボランティアの受入や、お出かけイベントなどを積極的に取り入れています。

ここ数年は、ボランティアの受入も、お出かけイベントの実施も難しい状況が続いていましたが、今年度からは徐々に取り組みを再開しています。フラダンスを一緒に楽しんだり、大阪国際空港へ飛行機を見に行ったりしました。

デイサービスの活動を通じて、多くの出会いや経験ができるような取り組みを、今後も続けていきます。

＼ 青空の下、飛行機が飛び立ちます!! /



日常生活自立支援事業

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う事業です。

▶ ご利用いただける方(次のいずれにも該当される方)

- 伊丹市在住
- 判断能力に不安のある高齢者や知的障がい者、精神障がい者など
- ご本人の利用意思が確認できる方



▶ サービスの内容

① 福祉サービスの利用の援助

- ・福祉サービスを利用、または利用をやめるために必要な手続き
 - ・利用料を支払う手続き など
- ※施設等への入所・入院契約や、保証人になるといったお手伝いはできません。

② 日常的な金銭管理の援助

- ・日常生活に必要な預貯金払戻しや預入等の手続き
- ・公共料金・医療費・家賃等の支払い手続き
- ・年金受領に必要な手続き、通知物の確認 など

③ 通帳・印鑑のお預かり

- ・預金通帳(残高が日常生活費程度のもの)や金融機関届出印などの預かり など
- ※ 50万円以上の財産の管理や、株券等の書類を預かることはできません。
- ※ 詳しいサービスの内容や利用までの手続きについては
伊丹市社会福祉協議会 権利擁護担当(072-787-6004)までお問い合わせください。

伊丹市社会福祉協議会 臨時職員 フルタイム・パートタイム 募集中!

勤務地	伊丹市立障害者デイサービスセンター 所在地▶伊丹市昆陽池2-10			伊丹市立地域福祉総合センター 所在地▶伊丹市広畑3-1
職種	介護補助(フルタイム)	介護補助(パート)	調理(パート)	日常生活自立支援事業 生活支援員(パート)
給与	日給: 資格*有10,100円 資格*無 8,300円	時給: 資格*有1,340円 資格*無1,100円	時給: 1,020円	時給: 1,020円
勤務日時	火～土曜の週5日 9時～17時30分	火～土曜のうち週1日 から応相談10時～16時	火～土曜のうち週3日程度 9時～14時15分	月～金曜のうち週2～3日 9時～17時半のうち2～3時間程度 (担当する利用者による)
内容	障害者デイサービスセンターにおける重度障がい者の生活介護、支援などの業務 (食事介助や入浴、排泄、日中活動やレクリエーション等の支援)		障害者デイサービスセンターにおける調理補助業務	伊丹市内の利用者宅訪問、銀行での払戻し手続、介護サービス費等の支払い代行や各種福祉サービスを利用するにあたっての支援業務(電動自転車や軽自動車を使用)
条件	65歳まで			70歳まで

※資格: 介護福祉士又は保育士の資格

職員募集に関するお問合せは 伊丹市社会福祉協議会 総務課(072-779-8512)までお願いします。(伊丹市社会福祉協議会のホームページでも紹介しています。)

令和5年度 伊丹市共生福祉社会フォーラム

新型コロナウイルス感染症拡大状況の長期化は、市民の孤立や生活困窮などといった問題をさらに深刻化させました。これまで以上に、地域のつながり、支えあいの基盤づくりが重要になるといわれる中、地域のつながりという観点で、今“社会的処方”という概念が注目を集めています。“社会的処方”とは、薬で人を健康にするのではなく、地域の人とひとのつながりを作ることで人を元気にする仕組みです。地域コミュニティの中で人が孤立することなく、より良く暮らしていくための方策として“社会的処方”について学び、今後の伊丹市における共生福祉社会実現を目指した地域づくりについて考える機会とします。ぜひご来場ください。

社会的処方

～孤立という病を地域のつながりで治す方法～

日時 令和6年2月10日(土) 12:30～(開場)

13:30～13:55 伊丹市社会福祉協議会感謝状贈呈式

14:00～16:30 伊丹市共生福祉社会フォーラム

入場無料

※手話通訳・
要約筆記あり

場所 東りいたみホール 大ホール

基調講演 社会的処方～孤立という病を地域のつながりで治す方法～

講師 一般社団法人プラスケア 代表理事 西 智弘 氏



<プロフィール>

2005年北海道大学卒。室蘭日鋼記念病院で家庭医療を中心に初期研修後、川崎市立井田病院で総合内科／緩和ケアを研修。その後2009年から栃木県がんセンターにて腫瘍内科を研修。2012年から現職。現在は抗がん剤治療を中心に、緩和ケアチームや在宅医療にも関わる。また一方で、一般社団法人プラスケアを立ち上げ代表理事に就任。「暮らしの保健室」「社会的処方研究所」の運営を中心に、「病気になっても安心して暮らせるまち」をつくるために活動。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。

パネルディスカッション

孤立させない地域のつながり実践

<登壇者> ばあ～ばのおうち 穂積 幸美 氏
おやし生き生きクラブ 岡 昌史 氏
あそぼうよ！かくれ家 農園カフェ 西川 真実子 氏

<コーディネーター> 一般社団法人プラスケア 代表理事 西 智弘 氏

同時開催

☑ 障がい者支援施設等
による物品販売

☑ 地域ふれ愛福祉サロン
パネル&作品展

主催：伊丹市・伊丹市社会福祉協議会

●伊丹市健康福祉部地域・高年福祉課 (伊丹市千僧1-1)
TEL (072) 784-8099 FAX (072) 784-8006

●伊丹市社会福祉協議会 (伊丹市広畑3-1)
TEL (072) 779-8512 FAX (072) 777-0722



認知症サポーター養成講座



●「認知症サポーター養成講座」とは

認知症になっても、自分らしくいきいきと、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、より多くの地域の方が認知症のことを正しく理解し、受け入れることが必要です。この講座では、認知症とはどのような症状であるか、認知症の方にどのように接すると良いかをお伝えします。あなたも「認知症サポーター」になって、認知症の方とそのご家族を温かく見守る応援者になりませんか。

●「認知症サポーター」とは

認知症サポーター養成講座を受講することで、どなたでも認知症サポーターになることができます。受講者には認知症サポーターの証である「認知症サポーターカード」と「オレンジリング」をお渡しします。特別なことをするわけではありませんが、認知症について正しい理解を持ち、困っている人に声をかけたり見守ったり、ちょっとしたお手伝いをする等、日頃自分ができる範囲で認知症の方やそのご家族を応援します。令和5年12月現在、伊丹市には約14,380人の認知症サポーターがいます。

日時：令和6年2月26日(月)
14:00～16:00 (受付13:30～)
場所：東いたみホール6階 中ホール
(伊丹市宮ノ前1-1-3)

対象：伊丹市在住・在勤・在学の方
申込：伊丹市地域包括支援センター (担当：田中)
TEL：072-787-6797
締切：令和6年2月19日(月)



認知症サポーターステップアップ講座

●「認知症サポーターステップアップ講座」とは

認知症サポーター養成講座を受講した人を対象に開催します。認知症についての知識をさらに深めることに加え、その知識を活かして、実際に認知症の方やそのご家族を支える活動者が増えることを目指します。



日時：令和6年3月5日(火)
13:30～16:30 (受付13:00～)
場所：いたみいきいきプラザ3階 会議室1・2
(伊丹市広畑3-1)

対象：過去に認知症サポーター養成講座を受けたことがある人

内容：前半：認知症についての講義
後半：認知症の人を支える活動者の活動紹介
申込：伊丹市地域包括支援センター (担当：田中)
TEL：072-787-6797
締切：令和6年2月29日(木)

令和5年度 子育て世代つながり講座

～こどもの食物アレルギー講座～ 参加者募集

伊丹市ボランティア・市民活動センターでは、子育て世代のつながりづくりを目的として、お子さんの食物アレルギー対応食に悩んでおられる保護者を対象に、こどもの食物アレルギー講座を開催します。

	開催日時	内容
1	令和6年2月17日(土)10:00～11:30	講義：こどもの食物アレルギーについての基礎知識
2	令和6年3月 2日(土)10:00～12:30	調理実習：卵・小麦・乳製品を除去した食事づくり
3	令和6年3月 9日(土)10:00～11:30	パパ☆ママ カフェ：食物アレルギーや子育てについての情報交換会



講師：大阪青山大学 健康科学部 健康栄養学科 准教授 蜂須賀 のぞみ 氏

場所：いたみいきいきプラザ(伊丹市広畑3-1)

対象：食物アレルギー対応についてお悩みの方など 10名程度

参加費(調理実習材料費)：500円程度

申込・問合せ：伊丹市ボランティア・市民活動センター

Tel：072-780-1045 Email：volunteer@itami-shakyo.or.jp



赤い羽根共同募金にご協力いただき ありがとうございました。

昨年10月から始まった赤い羽根共同募金運動では、自治会や学校を始め、さまざまな団体・個人の方にご協力いただき、令和6年1月9日現在の募金額は合計**6,816,341円**となっています。

その内、357,898円はボランティアグループの皆さまや子ども会連絡協議会様、スクールきると様、ガールスカウト兵庫県第86団様、市内障がい福祉団体の皆さまなどの街頭募金活動によるものです。

夏休みには、市内小学生と昆陽里児童クラブ、ガールスカウト兵庫県第86団の皆さまに、募金箱の飾りつけやミニのぼりの作成をしていただき、市内40ヶ所の施設に設置しました。子どもたちによる可愛い飾りつけは、地域住民の方からも好評でした。

また、11月23日(木・祝)に東りいたみホールのホワイエにて、伊丹市社会福祉協議会の法人化50周年記念フォーラムの開催時に、赤い羽根共同募金マルシェも同時開催しました。伊丹市立観光物産ギャラリー(伊丹まち未来株式会社)のご協力により、売上げの一部が赤い羽根共同募金に募金される「寄付つき商品」として、さまざまな伊丹の名産品を販売したところ、大盛況となりました。今後も皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



街頭募金

ミニのぼり



飾りつけ募金箱



赤い羽根共同募金マルシェ



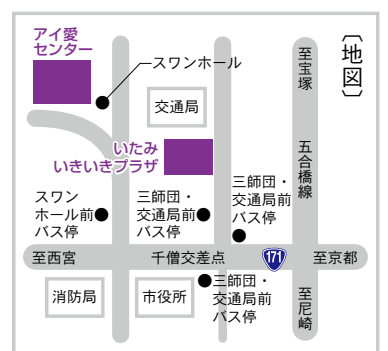
社会福祉法人 伊丹市社会福祉協議会事務局

伊丹市立地域福祉総合センター
(いたみいきいきプラザ)内

- 〒664-0014 伊丹市広畑3-1
 業務時間：月曜日～金曜日 9:00～17:30
 休業日：土、日曜日・祝日、年末年始
- 総務課 Tel.779-8512 Fax.777-0722
 - 地域福祉推進室
 - <地域支援課>
 - ・地域福祉推進担当 Tel.785-0860
 - ・ボランティア・市民活動センター Tel.780-1045 Fax.777-0914
 - <総合相談支援課>
 - ・地域包括支援センター(基幹型) Tel.787-6797 Fax.787-6911
 - ・地域生活支援センター Tel.787-6798 Fax.787-6911
 - ・福祉権利擁護センター Tel.744-5130 Fax.787-6911
 - ・権利擁護・資金貸付担当 Tel.787-6004 Fax.787-6911

伊丹市立障害者福祉センター・障害者デイサービスセンター
(アイ愛センター)内

- 〒664-0015 伊丹市昆陽池2-10
 業務時間：火曜日～土曜日 9:00～17:30
 休業日：日、月曜日、祝日の翌日、年末年始
- 障害者支援室
 - <障害者福祉センター課> Tel.772-0221 Fax.780-2897
 - ・障害者生活支援コーナー
 - ・ボランティア・市民活動センター昆陽池分室 Tel.773-8601
 - <障害者デイサービスセンター課> Tel.772-0239 Fax.782-6670
 - ・障害者デイサービスセンター



無料 伊丹市社協メールニュース購読者募集中!
右のQRコードを読み取って空メールを送信してください。



Web

ホームページ <http://www.itami-shakyo.or.jp/> ブログ <http://blog.livedoor.jp/itamishakyo/>